

地域に協同の 心をはぐくみ 明るくたのしく

いっしょに Coop

2024

5



TAKE FREE

もくじ

P 2	「みんなのお・す・す・めCO・OP商品レシピ」
P 3	わたし流で楽しむ 我が家のレシピ
P 4	「共立社のあゆみ」組合員の生活をまもるために わたしたちは手探りで出発した」11
P 6	共立社総代会・議案説明会 各地域の組合員集会のご案内 第10回産直交流会 報告
P 7	《最終回》「地の貌」日本画家 草苺一夫さん (山形生協組合員)
P 8	《最終回》「地の貌」日本画家 草苺一夫さん (山形生協組合員)
P 10	宅配事業部からのお知らせ
P 11	組合員の声室通信
P 12	《最終回》語り継ぐ・ 地元戦争体験者の「平和への証言」12
P 13	短歌・俳句&太田裕子さんの川柳
P 14	おしゃべりコーナーChapter Box



「たんぽぽ」
酒田生協：池田オスエさん

みんなの♪

お・す・す・め CO・OP商品レシピ

組合員の皆さんや生協がおすすめするCO・OP商品を使ったレシピを紹介いたします。こ〜ぷ委員会や商品委員会、その他にも様々な場面で組合員のみなさんが教えてくれたたくさんのレシピ。ぜひ、みなさんもチャレンジしてみてくださいね。また、あなたのおすすめレシピもお待ちしております。

CO・OPのおすすめ!

春キャベツとあさりのパスタ

材料 (2人分)

あさり(殻つき) 200g
春キャベツ 150g
にんにく(薄切り) 1片(10g)
CO・OPスパゲッティ 200g

コショウ 適宜
CO・OPだしの素 大さじ2
オリーブ油 大さじ2

作り方

1. あさは砂抜きをし、キャベツは一口大に切る。
2. 大きめの鍋に湯を沸かし、湯に対して1%の塩を加えてスパゲッティを茹で、茹で汁を50ml残してザルにあげて水気をきる。
3. フライパンにオリーブ油とにんにくを入れて弱火で熱し、にんにくの香りが立ったら、1.のあさを加えて炒める。
4. 2.の茹で汁とCO・OPだしの素を加えて蓋をし、あさりの口が開いたらキャベツを加えて炒める。
5. 4.のキャベツがしんなりしたら、2.のスパゲッティとコショウを加えて炒め合わせる。



CO・OPスパゲッティ



CO・OPだしの素



CO・OP厚あげ



CO・OP
塩味つき茶豆(冷凍)

CO・OPのおすすめ!

枝豆と厚あげの卵とじ

材料 (2人分)

CO・OP厚あげ 150g
CO・OP塩味つき茶豆(冷凍) 100g
生しいたけ 2枚
卵 1個

A { 酒 大さじ1
うすくち醤油 小さじ2
砂糖 小さじ1
だし汁 200ml

作り方

1. 厚あげは熱湯をかけて油抜きし、食べやすい大きさに切る。生しいたけは石づきを取り、うす切りにする。冷凍の枝豆は流水解凍し、さやと薄皮をとる。
2. 鍋にAを煮立て、1.の厚あげとしいたけ、枝豆を入れて弱火で約7〜8分煮る。
3. 溶き卵を回し入れて火を止め、蓋をして約1分蒸らす。





わたし流でたのしむ 我が家のレシピ

こんにちは、ちひの です。
先月に花粉症の症状が軽くて嬉しいと書いたのですが、
なんと！今になって花粉が本気を出しています…。
まだまだ序章に過ぎなかったようで
辛い日々を過ごしています。
少しでも改善したら良いな～と
奮にもする思いで、今回は
ヨーグルトを使ったレシピです。
みなさんは花粉症、大丈夫ですか？



娘たちに好き嫌いせずにバランスよく食べようねと言っている手前、私も歴代嫌いな食材に挑戦し、少しずつ克服してきています。豆・葱・にんにくなどはむしろ好きになりました！現在は山芋とらっきょうにチャレンジ中です。少量なら美味しいと感じられる様になってきました。諦めないって大事ですね。しかし長女はなんと、牛薄切り肉がちょっぴり苦手な様子。なんとも家計に優しいのでそこは克服しなくても良いかな～なんて（笑）。私も牛より鶏肉が一番好きなのでレシピに登場回数が多いです。生協のこだわりの鶏肉が美味しくて、安心して食べられるので重宝しています。みなさんの嫌いな食べ物、好きな食べ物はなんですか？我が家の単身赴任中の夫、帰ってくると山形の食べ物の美味しさにほっとするそうです。美味しいって嬉しいです。5月は山形が誇るさくらんぼの旬もきますね！食いしん坊の私の楽しみは続きます…♡

今夜のわが家の晩ごはん タンドリーチキン



副菜は

★鶏ささみのコールスロー ★塩昆布ピーマン
★洋風バターきんぴら

タンドリーチキンのレシピ紹介

ヨーグルト、ケチャップ、カレー粉を合わせ鶏もも肉をつけて2時間ほど寝かせます。
弱火～中火で皮からじっくり焼きます。
中に火が通り焼き色がついたら完成です。
子ども用に細切りにしていますが、大きめに切ったり、厚さを均等にして一枚のまま焼くとごちそう感が増しますよ◎
大きめのお肉を使うときは蓋をしながら焼いてくださいね～。

- キャベツを千切りにして塩揉みし、水気を切ります。茹でたささみとコーンを合わせて、塩コショウとカンタン酢を少々とマヨネーズを加えて全体をしっかりと混ぜ合わせたら完成です。鶏ささみは水から入れて沸騰後7分ほど茹でたら、すぐにお湯から出さずにやや冷めるまで待った方がパサつかずにしっとり仕上がります。
- 薄く輪切りにした人参をバターで炒め、柔らかくになったら椎茸を加えて炒めます。しんなりしたら白ワイン、はちみつ、だし醤油で味付けをして完成。洋風なのでより旨味の強い醤油がおすすです。私はねこぶだしを使用しました。白だしもおすすです！
- 細切りにしたピーマンをしんなりするまでレンチンしたら、塩昆布と鰹節に少量の醤油と白ごまを混ぜ合わせます。箸休めに最高の副菜です。昆布の味が馴染むまで30分ほど置いてからよく混ぜて食べてみてね。

ちひの の Coop な 日常

マミースタッフ養成講座に参加させてもらいました。
赤ちゃんの発達や手遊び歌から心臓蘇生法まで学びの多い1日でした。
昼食代だけでこんなに充実したプログラムを受けることができるなんて凄すぎません？ 組合員で良かったです♡
今年は2ヶ月に一度開催決定のあかちゃんレストラン～離乳食試食会。今回学んだことがしっかりと生かされますよう頑張ります！
離乳食に興味のある方、どなたでも参加OKです。ぜひ来てね♡





第八章 「共立社連邦制の誕生」

■空白地帯の克服と連邦運営

1978（昭和53）年、山形県生協連理事会の「第一次中期計画小委員会」は、「中期計画推進のために」と題する3つの課題を設定した案を理事会に提出しました。そして、1979年から81年までの3年間で「第一次中期計画」の期間と設定し、計画達成のために努力を傾けます。その主要なテーマは、山形県内から生協運動の無い地域をなくそうという「空白克服」でした。

■手探りで拓く道

鶴岡生協の空白地域をなくす活動は、1974（昭和49）年4月の石油パニックを契機に、新庄市の主婦たちの中から灯油の共同購入の機運が盛り上がり、灯油の共同購入のための「鶴岡生協の班」づくりが進められます。同様の取り組みは北村山でも始まりました。しかし、新庄市若葉町の事務所看板を掲げる際、「鶴岡生協家庭センター」とするのは、新庄市民好感を持たないとの意見があり、「鶴岡生協」を外して、家庭センターとされました。鶴岡生協では、今後各地に組織が広がっていくためには「地名を付さ

ない法人名」が必要であると、1979（昭和54）年、総代会で定款を変更し、法人名を「生活協同組合共立社」に名称変更しました。そして、呼称を「共立社鶴岡生協」「共立社新庄生協」「共立社北村山生協」とし、新庄、北村山には評議員委員会が置かれ、現地運営に当たり、連邦運営の実験をすすめることとなりました。このことが、県内地域生協の統一運営に道を拓くことになり、後に「第一次共立社」と言われるようになります。



▲6地域生協の「統一合意書」調印式

これにより、鶴岡生協は24年間の法人としての歴史と名称、定款を終結させ、始まったばかりの新庄・北村山地域の生協運動と共に

共立社連邦に対等・平等の一つの「州」として参加することになりました。

■ロマンを孕んだ歴史的的一步

1981（昭和56）年、県連の総会で「中計小委員会」は、第一次共立社の運営を紹介し、「連邦制による県内地域生協の大同団結」を訴える「第二次中期計画」をまとめ、「連邦構想」による単一生協について」の議案を提出します。

この「第二次中期計画」に添い、山形生協、酒田生協、山形生協と山形大学生協の支援で生協づくりが進められていた天童生協準備会に共立社連邦への参加が呼びかけられました。

そして、1983（昭和58）年、11月24日、酒田・鶴岡・新庄・北村山・天童・山形の6地域の組合員は一つにまとまって新しい「共立社連邦」として進むことを組合員総会で確認しました。

同年の7月、6地域の合同理事会・評議員委員会が開催され、6地域統一に向けた大筋の方向性を確認し、準備は「連邦制組織委員会」に委任されます。委員会では、統一生協の運営機構と統一合意書の

※「生活協同組合共立社」：「共立社」という名称は、1879(明治12)年、日本で初めてロッチデール理念による協同組合を先駆的に実行した「共立商社」にちなんだものです。

6地域の「統一合意書」 (冒頭部分一部)

酒田・鶴岡・新庄・北村山・天童・山形の6地域の生協組織は、山形県生協連の中期計画をうけて、県内における生協運動の飛躍的發展を期して、大同団結します。大同団結のすすめ方は、連邦制による単一生協(共立社構想)として、すでに共立社連邦に参加している、鶴岡・新庄・北村山と共に、酒田・天童・山形の生協組織が共立社連邦に参加することとします。連邦に参加する6地域の生協組織は、協同組合の民主運営の原則を貫き、組織・事業の大小にかかわらず、対等・平等であり、連邦の運営も各地域から同数の代表による民主運営を貫きます。

「連邦制」という言葉には、大規模合併とは質的に違う、各生協の自主・自立を尊重し、運営に

■涙が洗い流したッしこリッ

進むことを確認しました。山形県の生協運動の歴史、また日本の協同組合運動の歴史に新たな一歩を刻む忘れてはならない日となりました。

11月24日、生活協同組合共立社(共立社鶴岡生協・共立社新庄生協・共立社北村山生協による連邦)と、山形生協、酒田生協の3法人が、同日・同時刻に「組合員総会」を開き、『統一合意書』を承認し、構想・実験の段階から、現実の運動・実務として一つにまとまり、新しい共立社連邦として進むことを確認しました。山形県の生協運動の歴史、また日本の協同組合運動の歴史に新たな一歩を刻む忘れてはならない日となりました。

作成に向けて8回もの協議を重ねました。

民主主義を貫くという生協の理念が込められています。

しかし、統一名称に関しては6地域の組合員にもそれぞれの想いがあり、初めからすんなりと受け入れられたわけではありませんでした。「連邦制組織委員会」でもこのことが議論の大きな山場となりました。

「新共立社の名称を巡っても堂々巡りで、お互いに『こだわり』があったように思います。会ってから日も浅く、むずかしい時期でもあったので、心を開きあうところまでいかなかったのですね。」

「山形の皆さんからは共立社ではなく、色々な意見が出たのですが、新庄の委員が無言の抗議で泣き出してしまいました。何時間話すよりも説得力のある『発言』でした。同じ生協でどうしてそん

なに話が一致しないのか、という悔し涙のような気がして、本当に団結してやっていかなければならないと思われました。」

この様に「統一合意書」の作成まで8回の協議を重ね、共に時間を積み上げる中で一つにまとまっていきました。その後、1987(昭和62)年に南陽生協、1989(平成元)年に寒河江生協、1993(平成5)年に西置賜生協、2005(平成17)年にコープよねざわが発足し、現在、共立社は10地域生協からなる連邦運営を行っています。



▲共立社西置賜生協発足式

■「連邦制による単一生協」

「連邦制による単一生協化」と

は、各生協が協同で一つの生協をつくり、各生協は連邦として参加する。新しい生協は統合された大きな力を発揮し、個々の生協ではできない要求を実現していくが、それぞれの地域と組合員の自主性は大事にされるという考え方です。また、全ての生協がそれぞれ対等・平等であり、組織・事業の大小に関わらず運営には各地域から選ばれた同数の代表による民主運営を貫いています。したがって、大きな生協の意向が小さい生協に押し付けられるという弊害は起こりえないし、起こしてはならないのです。

(つづく)



▲共立社コープよねざわ発足式

共立社通常総代会 及び 議案説明会、 組合員集会の開催について

●通常総代会および議案説明会の開催について

1.第45回共立社通常総代会

2024年6月17日(月) 10:30より／

山形テルサ 大ホール

総代会は生活協同組合の最高意思決定機関です。

共立社では組合員から選ばれた500名の総代のもと、2023年度のまとめや決算、2024年度計画や予算、役員体制を決定します。

2.議案説明会

総代会当日は時間が限られていますので、事前に議案の詳しい説明を行います。総代を対象に各地域10カ所で開催します。各地域とも組合員集会と同日・同会場で行われます。



▲第44回共立社総代会の様子

●2024年度 組合員集会の開催について

生協共立社は10の地域生協からなる連邦制の生協です。各地域生協では地域の組合員を対象に組合員集会を行います。地域の組合員ならばどなたでも参加でき、地域の取り組みや課題の共有、楽しい交流の場です。参加希望の方は各地域生協（組織部）、またはコールセンターへお問い合わせください。

議案書説明会 及び 組合員集会 各地域開催日程

地 域	開 催 日 時			会 場
		組 合 員 集 会	議 案 説 明 会	
酒 田	5月18日(土)	10:00～12:00	13:00～15:00	酒田勤労者福祉センター
鶴 岡	5月22日(水)	10:00～12:30		東京第一ホテル鶴岡
新 庄	5月21日(火)	10:00～12:00	13:00～15:00	わくわく新庄（新庄市生涯学習センター）
北 村 山	5月17日(金)	10:00～12:00	13:00～14:30	飫葉プラザ
天 童	5月19日(日)	9:30～12:30		天童中部公民館
寒 河 江	5月15日(水)	10:00～12:00	13:00～14:00	寒河江技術交流プラザ
山 形	5月16日(木)	10:00～12:15	13:00～14:15	山形テルサ
南 陽	5月19日(日)	9:30～13:00		南陽地域事務所
西 置 賜	5月25日(土)	9:30～12:30		飯豊町中部地区公民館
よねざわ	5月24日(金)	10:00～11:30	12:30～14:00	すこやかセンター

※時間や会場は変更になる場合もあります。

共立社は10地域生協からなる連邦制を取って組合員活動をしています。今月は、23年度の締めくくりの活動を2つ紹介いたします。みなさんも一緒に活動に参加してみませんか？ご意見やご感想もお待ちしております。

～生産者・消費者・生協 共通の願いの実現～

4年ぶり！生協共立社「第10回産直交流会」が開催されました

生協共立社・第10回産直交流会

3月19日(火)・山形テルサ

山形テルサを会場に、コロナ禍で中止を余儀なくされていた「産直交流会」を4年ぶりに開催し、県内各地から102名の組合員、県内外の生産者やお取引先から33団体58名、生協共立社の役職員53名、総勢213名が参加しました。

安達理事長のあいさつの後、永年産直団体の表彰式が行われ、産直提携50周年の朝日町大谷果樹組合・上山鈴木秀峰園、産直提携40周年のJA鶴岡・山形県漁業協同組合の4団体へ表彰状と記念品が贈られました。

午後からは、農産（センター・宅配）・米・鶏卵・畜産の5つの分科会に分かれて交流を深めました。

共立社の産直の歴史は1962年に始まり（共立社の前身・鶴岡生協の手作り産直）、半世紀以上もの長い歴史があります。その原点は、生産者も消費者も、生協も皆同じ生活者であり、背景にはそれぞれのくらしがある、との考え方です。みんなが対等・平等の立場で意見を述べ、支え合う生協の“産直”の意義を改めて確認できた産直交流会となりました。



▲永年産直団体表彰代表の皆さん(左から大谷果樹組合・JA鶴岡・山形県漁協)



▲午後の部の分科会の様子(センター農産分科会)

持続可能な運営参加の場づくり

2023年度 地域活動交流会で各地域の取り組みを共有

生協共立社組織本部

3月1日(金)・コープしろにしセンター・共立社鶴岡本部

コロナ感染症により組合員同士の集まる機会が減った21年度からスタートした「地域活動交流会」は、こ～ぶ委員会を中心とした地域活動の交流を通じて、アイデアやヒントを得る機会にすることを目的としています。この間の3年間はリモート開催でしたが、今回は“リアルで集まりたい”との組合員の意見も取り入れ、山形（しろにしセンター2階組合員集会室）と鶴岡（本部3階）に10地域生協から約60名の組合員が集まり、2会場をリモートでつないで各地域の取り組みを共有しながら交流しました。

午前中は事例報告会で、県内10地域から地域性豊かな報告がありました。午後からは、それぞれの会場でいくつかのグループに分かれて交流。時間が足りないくらいに盛り上がりました。参加された方からは、「他地域の活動をじかに開けて良かった。とても元気をもらえたと、刺激になりました」。などの声が寄せられました。



▲リモートの画面を見ながらストレッチに参加する鶴岡会場の参加者



▲グループ交流する山形会場の参加者

山形市在住 日本画家
(山形生協組合員)

草薙 一夫さん

地^ち の 貌^{かお}



※photo: 庄司麻樹



大地は地の恵みであり、人間はその恵みを得、大地と共に生きる。
しかし、今 争いによって大地は荒れ、人間はその心を見失っている。
それらを恢復^{かいふく}させるために、一本の絵筆に祈りをこめて、描く。

「地の貌 (ちのかお)」 《最終回》

春 大地は芽吹き、多くの恵みを我々に齎^{もたら}してくれる。しかし、今 人間の心と大地への畏敬の念を見失った人間たちの争いによって大地は抉^{えぐ}れ、穢^{けが}されている。そしてこれらを目の当たりにしている、泥にまみれて日に焼け、汗水流して土を耕し、その恩恵を大地から受けてきた百姓絵描きの私の心もまた、抉^{えぐ}られているかのような苦しみを覚えるのです。

同じ農高 (現・上山明新館高校) の一年先輩の木村勉^{みちお}夫君 (農民詩人) は小学五年生の時に父が戦病死、叔父も戦死した。二人の息子を奪われた彼の祖母は、「にほんのひのまるなだてあかいおらがむすこのちであかい」と、国家への怨念^{うらな}を詩^{うた}にして字が書けなかったので頭で書き、呻^{うめ}くように詩^{うた}って働くのを聞いて木村君は育ち、「俺には字が書ける。自分や母、家族が被った苦しみを書き残しておかねば」と、詩を書くきっかけとなった。





草苅一夫「鳥海山」(眺海の森さんさんより描く) 横387cm×縦121cm



Profile

プロフィール

くさかりかずお 画家 1936年山形市生まれ。
上山農業高卒。日本画家・後藤紀一氏に師事。県
総合美術展、新興美術展などで入賞・入選を重ねる。
朝日新聞で「奥の細道」「最上三十三観音」「出羽
賛歌」「茂吉が居る」などを題材にした連載企画を
担当。県内個展25回、平成9年東京有楽町朝日
新聞記念館 草苅一夫日本画展

その想いを一本の筆に込めて、私は 今日もまた描き続ける。

よる赤い血で大地を穢してはならない。

決して、人間の欲望によって大地を荒らすことがあつてはならない。殺戮に

感謝する心が生まれる。

大地とともに生き、過酷な自然を受け入れることで、私たちはその慈しみ深さに

ような美しさだった。

絵が好きだった私は、農校卒業後、神保先生の紹介で後藤紀一先生に弟子入りし、農業をしながら絵描きの道を歩んだ。夕日を浴びて金色に輝く、各家の田畑にある大糞尿を貯めておくドケはまるでミレーの絵のように荘厳だったし、私が生まれ育った蔵王成沢の夜はまるでゴッホの「星月夜」のように吸い込まれるような美しさだった。

- ①「鳥海山」に最後の筆を入れる草苅さん
- ② 自宅2階のアトリエにて
- ③ 白緑の岩絵の具を膠液に溶く
- ④ 何度も絵具を重ねて重厚な絵に仕上げる